

令和2年度 第1回岡崎城跡整備委員会会議録

開催日時：令和2年8月7日（金）午後2時00分～午後3時30分

開催場所：岡崎公園 巽閣

出席委員：5名

瀬口哲夫委員・丸山宏委員・加藤安信委員・奥田敏春委員
堀江登志実委員

欠席委員：2名

三浦正幸委員・中井均委員

説明のために出席した事務局職員：8名

社会教育課：中村耕課長・柴田英代副課長・菅沼貴之岡崎城跡係係長・
山口遥介主査・中根綾香主事

まちづくりデザイン課：市川正史課長・井尻智久係長・塚本拓也技師

傍聴者：なし

次第

1 議題

- (1) 令和2年度岡崎城跡発掘調査について
- (2) 歴史文化資産解説板等の整備について

2 現地確認

菅生川端石垣
坂谷曲輪

議事内容

1 議題

- (1) 令和2年度岡崎城跡発掘調査について

事務局：配布資料①に基づき説明

【質疑応答】

[大手門発掘調査について]

委員：大手門のトレンチ1の目的は、北側の土塁の確認ということで良いか。

事務局：枳形の部分になるため、石垣等が確認できないかということで設定している。

委員：トレンチ2、3について外門にあたるという考えであるのであればトレンチ1で北側の土塁を確認するより、条件的には一緒なので交差点の南側に設定すると大手の内門にあたり位置関係が詳細にわかるのではないか。

- 委員：区画整理時の図面と絵図を比較させた方がわかりが良いのではないか。
- 事務局：重ね図を作成している。
- 委員：戦災復興の区画整理で大きく変わっているのだから、その図面でチェックをして内門、外門を確認した方がよいのでは。
- 事務局：トレンチ1を南側に設定するとタクシー乗り場があり、そこを避けてトレンチを設定している。意見を反映できるように調整をしていきたいと思う。
- [坂谷曲輪発掘調査について]
- 委員：トレンチ3に石組溝が残っているとのことだが、後に設置されたということとは考えられないか。あえてトレンチ3、4を設定した理由はなぜか。
- 事務局：トレンチ4については地形が斜面になって3石並んでいるので土塀の礎石ではないかと想定している。トレンチ3には現状でも石組溝が露出しており、その東側に2石程度、礎石になりそうな石が残っている。
- 委員：絵図に記載がないが。
- 事務局：石組溝は排水を伴うもので、礎石についても絵図には記載がないものである。確認のためにトレンチを設定している。
- 委員：坂谷門の規模の記載はないのか。
- 事務局：旧岡崎市史に外門の記載があるが、内門の記載はない。
- 委員：写真はあるのか。
- 事務局：古写真から模写で復元した絵はある。
- 委員：その外門と比較した方がよい。今、石垣が見えているところは外門であると思われる。今の石垣が内門と想定すると石垣の配置が絵図に合わない。
- 委員：今の石垣の配置が内門であるか、外門であるか両方の可能性を調査した方がよい。
- 事務局：土塀が現況の石垣の縁辺にまわれば絵図に描かれたような枡形を想定することも可能である。
- 委員：昭和15年の写真は、現地で見えている石垣であるならば、外門の石垣か内門の石垣とどちらと考えるのか。内門の石垣であるならば外門の石垣は明治期の河川改修により撤去されたと考えられるのでは。それならば河川改修の記録を調べればわかるのでは。
- 委員：河川改修時に枡形を撤去することは想定できないが。
- 委員：可能性があるなら一度調べてみてはどうか。現状になったのはいつからかその時の図面はないのか。事業主体は。
- 委員：その時の資料を見た記憶があるが、市ではなく組合であったと思うが、城郭に関する記述はなかったと思う。
- 委員：河川からすると障害物撤去したのみなので城郭の記述はないのではないのか。内門、外門の位置の視点からトレンチの位置はいかがでしょうか。
- 委員：トレンチの位置は問題ないと思うが、調査してみないと分からないと思

う。

事務局：調査していく上でトレンチ配置を広げるなど検討をしていく。

(2) 歴史文化資産解説板等の整備について

事務局：配布資料④⑤に基づき説明

【質疑応答】

委員：総構えの案内板だが文字はどの程度なのか。文字が小さすぎて読めないのではないか。日本語はかろうじて読めるが、英語は読めない。

事務局：文字の大きさは、本市が定めた公共サインガイドラインを基に平成30年度から設置しているものと変更はないので、このままのサイズでいきたい。

委員：全てではないがルビをふる必要があるのではないか。

委員：寺社の名称の記載があるものとないものとの違いは。

委員：情報が入りすぎているのではないか。

事務局：いただいた意見を基に記載情報を整理し検討をしていく。

2 現地確認

菅生川端石垣

- ・石列表示については、昨年度整備により石垣が検出されたことから、上部に構造物を設置すると、今後も埋没している石垣の調査に支障が出るため、設置はしない方がよい。

坂谷曲輪

- ・トレンチ配置等について指摘事項なし。